

【感情社会学演習（ジェンダーとアイデンティティ）について】

田中慶子

（重要事項）

- ・ 前期火曜2限に行う。
- ・ 過去に「感情社会学演習（ジェンダーとアイデンティティ）」で単位を取っている人は履修できないので注意すること。
- ・ テキストは授業内で指示する。
- ・ シラバスと演習内容に変更が伴う可能性があるので注意すること。

（演習内容）

- ・ 感情社会学演習では、テキストをもとに、人々の感情が生起する状況や感情のあり方を捉えることを目指す。内容としてはテキストのレジメ発表、ディスカッションとなる。

（E X：なぜ人はつまらないと思っても周囲が笑っていたら笑うのか等）

演習の参考となるものとして、『社会学する原動力』（田中慶子・中根光敏）の「第2章 ファッションと感情労働の社会学」が挙げられる。

・本演習は基本的に履修者によるディスカッション（各自の考え方を共有するとともに各自の考えや捉え方について思考すること）に重きを置いているため、演習内では意見が求められる。

* 質問がある場合は、ketanaka@shudo-u.ac.jp（田中）へ連絡下さい。

以上